

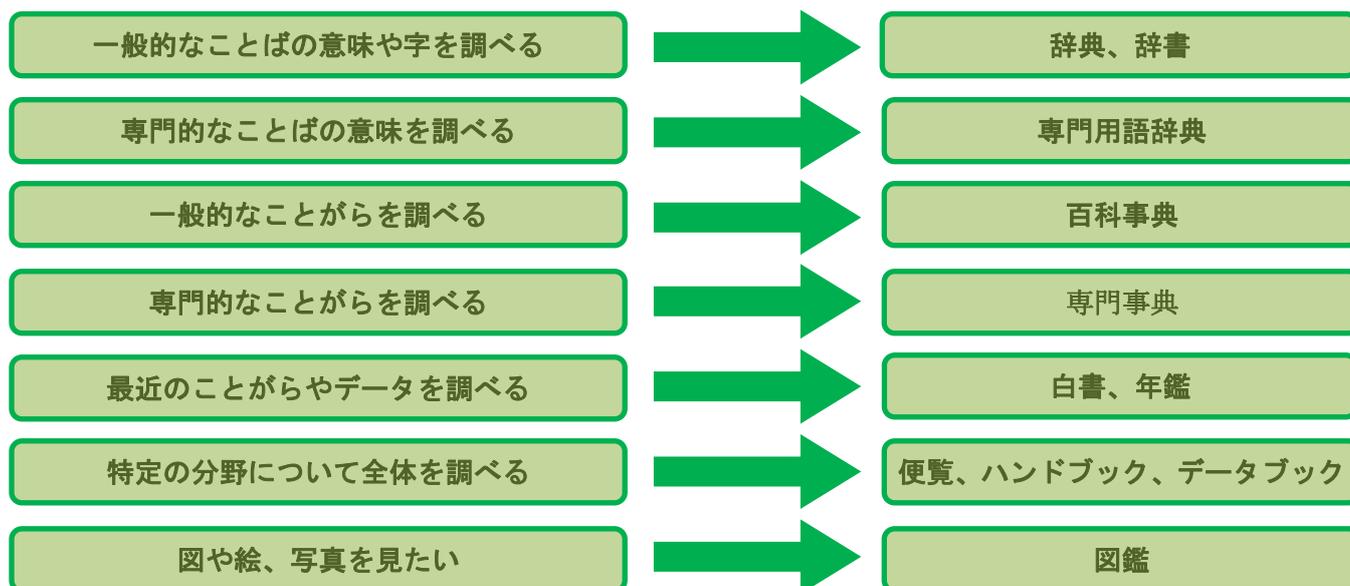
参考図書を利用しよう！！



編集・発行 都城工業高等専門学校図書館 2014年5月7日発行
宮崎県都城市吉尾町473番地1 2020年8月31日改訂
Tel: 0986-47-1109、1110
<http://www.miyakonojo-nct.ac.jp/library/>

図書館には、事典や図鑑、年鑑、便覧など「参考図書」と呼ばれる図書があります。必要な時に必要な項目を参照して利用できるの、調べものがあるときに非常に便利です。いろいろな種類がありますので、いくつか紹介します。

☆「参考図書」の種類☆



☆参考図書の使い方☆

① 「索引」を使おう！

語学辞書や事典などは、50音順やアルファベット順に項目が配列されていて、参照したい項目を比較的簡単に探せますが、ハンドブックやデータブックなどは、参照したことがらがどこに載っているか、目次を見てもわからない場合があります。そんな時は、「索引」を引いてみましょう。

多くの参考図書には、巻末に「索引」が収録されています。百科事典などは、別巻で「総索引」として刊行されている場合もあります。本文の見たい項目にたどり着けるように、用語や主要な人物名、項目などを50音順などで配列し、その項目が記載されている部分（ページ）を示しています。

目次に探したい項目がある場合でも、この索引を引くことによって、他の部分に記載されている関連事項を見つけることもできます。

② 「凡例」を見よう！

辞書や事典を使っていて、記号や略語を目にすることがあります。それが何を意味するのか分からない場合は、「凡例」を参照しましょう。

「凡例」とは、巻頭にあって、その書籍の編集目的や使い方などを簡潔にまとめたものです。本文中に使用される用語や略語・記号についての説明もここにあります。「参考図書」を使用する前に、目を通しておくとよいでしょう。